



# みんなで守るふるさと



高知県 日高村  
日高村水と環境を守る会



## 日高村って何処？



日高村は高知県のほぼ中央部、高知市より西に16kmのところの位置し、北部から東部にかけては石鎚山に源を発する清流仁淀川が流れており、村の中央部には隣接する佐川町に源をもつ日下川が西から東に貫流し仁淀川に合流している、川に囲まれた自然豊かな地域で、現在、人口4,932人、世帯数2,449世帯、総面積44.85km<sup>2</sup>の小さな村です。



高知市から意外に近い村です！



## 日高村ってどんな所？



日高村は、中山間地域であり、農業中心の村です。その中でも、県営ほ場整備事業で整備された農地は、概ね127haの区画で、水稻と地域の特産である「高糖度トマト」の栽培が盛んに行われています。この特産品である「高糖度トマト」を使って村の飲食店が「オムライス」を提供する農商連携の「日高村オムライス街道」の取組みはメディアにも数多く取り上げられ全国から視察が来るなど大変好評を得ています。

また、現在は、日下川放水路トンネルの大規模工事が進んでおり、周辺地域の観光資源と連携したツアーコンテンツ等のインフラツーリズムとしての活用を構想中です。



日高村特産の「シュガートマト」

## 組織設立の経緯は？



日高村では、それまで、ほ場整備地を維持・管理していた「日下・加茂土地改良区」が平成24年10月に解散したことにより、地域の農業者等を中心に話し合い、「農地・水保全管理支払交付金事業」の活用により、改良区に代わって、ほ場整備地の適切な維持・管理と周辺の美しい農村環境を守ることを目的に、平成25年7月に14の用排水組合、自治会、女性の会、老人クラブ、消防団、NPO法人等で「日高村水と環境を守る会」を設立。日高村全体で1組織として取り組みを行っています。



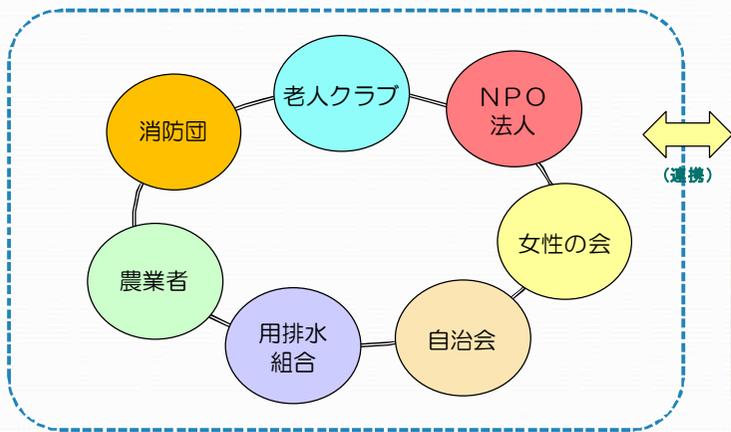
総代会の様子

## 組織の概要は？



- 取組活動 農地維持支払、資源向上支払（共同活動、施設の長寿命化）
- 認定農用地面積 127.13ha
- 組織構成 農業者、用排水組合、自治会、女性の会、NPO法人、老人クラブ、

### 消防団



【地域の担い手】  
 (株)コスモスアグリサポート  
 (農)沖名営農組合



計画策定の様子

## どんな活動してるの？



### 1. 農地維持支払

#### ○ 地域資源の基礎的な保全活動

毎年、年度当初に14の各用排水組合毎に「点検活動」を実施し、その結果に基づき年度計画を策定。毎年3回、農用地、水路、農道の草刈り、水路及び側溝の泥上げを地域住民の参加による共同作業にて実施しています。



草刈り作業

#### ○ 地域資源の適切な保全管理のための推進活動

集積された農用地や高齢農家の農用地、不在村地主の農用地の管理作業について、地域住民を含めた体制をつくり、計画的な保全管理活動を行っています。



検討会の様子

## 2. 資源向上支払

### ○ 共同及び長寿命化の活動

14の各用排水組合の点検・機能診断活動等の結果を当会事務局に持ち寄り、当会役員と村の担当課により、現地の状況確認を実施し、再度役員会において、緊急性、優先順位等について協議し、工事箇所を選定しています。

水路がきれいに直ちゅう！



老朽化した用水路  
(改修前)



長寿命化の活動により改修された用水路  
(改修後)

## 2. 資源向上支払



コスコスがきれいに咲ちゅうちゃ！

### ○ 農村環境保全活動

事業開始当初から、毎年、早場米刈り取り後の田（令和元年度は1.5ha）を利用して、日高村の村花であるコスモスの植栽活動「花いっぱい運動」を地域住民やNPO法人、女性の会、村内の福祉施設の入居者等で実施しており、花の見頃である10月下旬頃に「コスモスマつり」を開催し、村内外から多くの方々（令和元年度は約1,000人程度）が訪れ、村内外の住民の交流の場となり、活動の啓発の場にもなっています。



子供達とコスモスの種まき



↑  
コスモス祭りの様子→

## 2. 資源向上支払

### ○ 多面的機能の増進を図る活動

遊休農地22.5aを利用し、地元小学生による田植えや稲刈りの農業体験を実施。また、高低差のある農用地の法面約15aを利用した花桃の植栽にも取り組んでおり、新たな憩いの場となるよう定期的に草刈りなどの管理作業を行っています。



田植え体験の様子



修行も農業も  
1日にしてな  
らすじゃ！



花桃植栽地の手入れ



稲刈り体験の様子



気を付けて！

8

## 組織の運営は？



日高村水と環境を守る会は、一つの大きな活動組織として活動しており、活動に当たっては、役員会での協議を経て、14の用排水組合が各地域で日程調整しながら共同活動を実施しているため、会計や日程調整等の事務作業の負担が大きな課題でした。

そこで、当会では、独自に事務員1名を雇用し、会計事務、役員会の案内や日程調整、各用排水組合との連絡等を主な業務として、日高村から無償で借り受けている事務所において、週5日、1日8時間で勤務してもらっています。

このように、事務員を専従で配置することで、役員も含めた構成員が実践活動に専念できると共に、円滑な組織運営が実現できています。



この風景を  
後世に！



9

## 活動による効果は？



私たち、日高村水と環境を守る会が主体的に活動を展開することにより、以下のような活動効果が得られています。

- ① 地元小学生の農業体験は遊休農地を利用し、地域住民と農業者との交流。
- ② 日高村の村花である、コスモスの種まきによる景観形成への取り組みを通じた地域住民や障がい者福祉施設の子どもの参加による交流。
- ③ コスモスまつりを通じた村内外の住民との交流等による、地域全体での農地保全に対する意識の向上。
- ④ 地域での共同活動の重要性の認知や住民間の交流。etc



皆さん、  
協力あり  
がとう！



10

## 今後目指すことは？



私たち、日高村水と環境を守る会は、今後も、現在の活動を継続し、更に多くの地域住民の参加を促し、様々な活動による地域交流を通して、農地保全の取り組みや営農への理解と協力を得ながら、日高村全体の活性化を図っていきたいと思います。

それらにより、大切な「ふるさと」の風景が守られ、また、課題である、農地の維持、新たな農業の担い手や新規就農者の確保、移住者の呼び込み等、地域の活性化に繋がっていければ、  
**「みんなで守るふるさと」**が実現されると考えています。

そのために、構成員一同、一丸となって更に頑張っ  
て行きます。



11